

■あらすじ

古いや、まじないで病気をなおすイタコのばばさまは、失敗ばかりで寝込んでしまった。ある夜のこと、腹を減らして死にそうなキツネが、ばばさまに食べ物を恵んでもらって命拾いをした。お礼にキツネが「じょうり」をうなると、ばばさまの病気はなおってしまった。「おこん」と名づけられたキツネは、ばばさまと仲良く暮らすようになったんだが……。

ある日お城のサムライがやって来て、ばばさまに「じょうり」でお姫様の病気をなおしてくれと頼んだ……。

なつこの ひとり芝居

おこんじょうり



■なっちゃんいのちを語る

ひとり芝居は相当な実力と体力、何よりも芝居に向き合うよほどの情熱が必要なはず。驚いたことに【なんじゃもんじゃ】という夫婦の劇団が二人とも、ひとり芝居を立ち上げてしまった。常々この人の情熱、生きる激しさ、いのちへの慟哭に驚き感動させられてきた「なっちゃん」こと夏子さん。誰よりもいのちへの光を見つけてきたなっちゃんが『おこんじょうり』のいのちに体当たりを挑ん

「キツネのじょうり?おもしろえかたってみろや」

「ほんじゃまあ…べんべんべん、なんむうなんむう」



「ばばさま…ありがとう」

「おこんよー!死んじゃなんねえー」



岐阜県恵那市 そだちあいの家ふきのとう 遠山信子

だのだ…おこんのいのちが乗り移ったかのように。イタコのばばさまがおこんを愛おしむ、その深い想いのままに、なっちゃんは役者のいのちをかけて、ひとり芝居に挑んで来た。私はなっちゃんのいのちと、芝居の中で語られるいのちが、熱い血となって解け合っているのを感じるのです。なっちゃん、拍手!

劇団
なんじゃ
もんじゃ

〒508-0203 岐阜県中津川市福岡942-1

TEL&FAX 0573-72-5655

[E-mail] nanja@lily.ocn.ne.jp

[URL] http://nanja.sakura.ne.jp

原作＝さねとうあきら (理論社)

脚色＝ふじたあさや

潤色＝西尾夏子 / 演出＝西尾瞬三

美術衣裳＝坂本真彩